歴史と地形から、
愛知を知る。
ブラアイチ

関連歴史年表

注目　橙色の文字はブラアイチに関係する岡崎以外での大きな出来事です

室町時代

まるやが現八丁町にて醸造業を始める　1337 年
足利尊氏が京都に室町幕府を開く　1338 年
六名堤の築堤　1399 年以前
西郷頼嗣による岡崎城築城　1452～1455 年
松平清康が岡崎城に入城　1524 年
岡崎城内で竹千代（徳川家康）が誕生　1542 年
織田信長が室町幕府を滅ぼす　1573 年


伝 西郷頼嗣像
幸田町 正楽寺蔵

安土桃山時代

八町塩商人が物見役をし、その功績を讃えられ、徳川家康より塩座の特権を与えられる　1574～1575 年
塩問屋の国分家が諏訪神社に石灯篭を寄進　1588 年
豊臣秀吉が全国を統一し、徳川家康が関東に移封される　1590 年
田中吉政による岡崎城郭、城下町建設
田中吉政による矢作川の堤防築堤　1594年
田中吉政による矢作川の堤防、洪水により破損　1595 年
原長頼による再度の築堤　1595～1598年？
関ケ原の戦いにて徳川家康が石田三成に勝利　1600 年
矢作橋の架橋、宿駅伝馬制度の確立、岡崎が東海道38番目の宿場として指定される　1601年

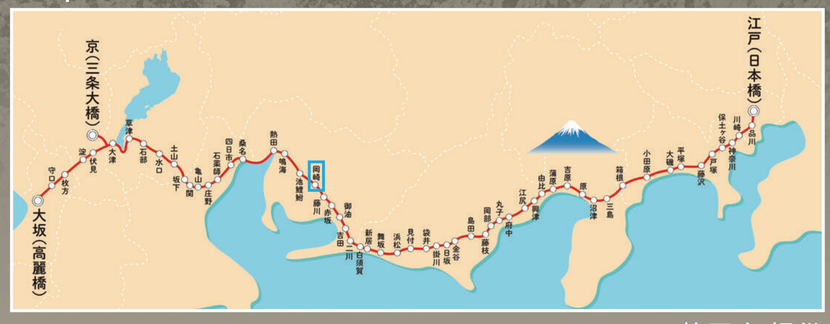

田中吉政像
長浜城歴史博物館蔵



天守台石垣南面 岡崎市教育委員会蔵

江戸時代

徳川家康が征夷大将軍となり江戸幕府を開く　1603 年
矢作川の大洪水により矢作橋、現八丁町・田町の町屋が流失　1607 年
岡崎藩主本多康重により町割の指示が出される　1608 年
現八丁町、現祐金町の住人の移転により伝馬町が設立　1609 年
参勤交代の制度が確立　1635 年
カクキューが現八丁町にて業として八丁味噌を造り始める　1645 年
青木川の付替工事　1650～1700 年
伝馬町塩座と奥殿藩が塩船通行を巡って紛争　1656 年
石製品の在銘作品が現れる　1688～1704 年
備前屋が伝馬町にて創業　1782 年



静岡市 提供

大政奉還により江戸幕府が滅びる　1867 年
明治政府が成立し、近代国家を目指す明治維新が始まる　1868年
廃城令が発せられ、岡崎城は廃城となる　1873年
まるやの現在の事務所が建築
大雨により三島（六名）堤が決壊　1882 年
伊賀川の付替工事　1912 年



明治時代

大正時代

1914 年　第一次世界大戦が始まる
1918 年　第一次世界大戦が終わる
1927 年　殿橋が架橋
1927 年　カクキューの現在の事務所が建築
1935～1944 年　矢作川舟運をはじめとした川船輸送が終焉を迎える
1939 年　第二次世界大戦が始まる
石屋が最盛期を迎え、伝馬町周辺に 350 軒ほど店を構える
1945 年　岡崎空襲により備前屋の店舗が焼失
第二次世界大戦が終わる
1947 年　備前屋が現在の位置で店舗再建、営業再開
1955 年　高度経済成長期に突入
1978 年　岡崎市の石工組合、３組合により、岡崎石製品協同組合連合会が設立
1979 年　経済産業大臣が岡崎石工品を国の伝統的工芸品に指定
1988 年　甲山丁場跡北側に急傾斜地崩壊危険区域の指定がされ、がけ崩れ防止工事が行われる
1996 年　カクキューの事務所などが県内初の国登録文化財に登録
2006 年　現八丁町周辺を中心に NHK 連続テレビ小説「純情きらり」のロケ地となる
2007 年　甲山丁場跡南側に急傾斜地崩壊危険区域の指定がされ、がけ崩れ防止工事が行われる
2008 年　８月末豪雨発生


殿橋渡り初めの様子　岡崎市蔵



昭和時代

平成時代

2009 年～2015 年　市内５河川において、床上浸水対策特別緊急事業を実施
2014 年　カクキュー、まるやの事務所などが景観重要建造物に指定
2016 年　市制 100 周年、殿橋にフルカラー LED 照明が設置される
2017 年　現八丁町周辺を景観形成重点地区に指定
2018 年　QURUWA 戦略が策定
2020 年　桜城橋が架橋
2021 年　殿橋が選奨土木遺産に認定される
2022 年　八帖町から「八丁町」に名称変更





現代